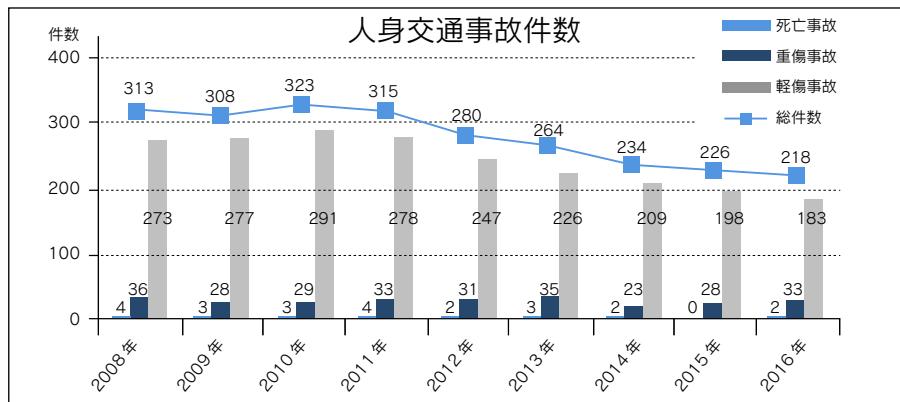
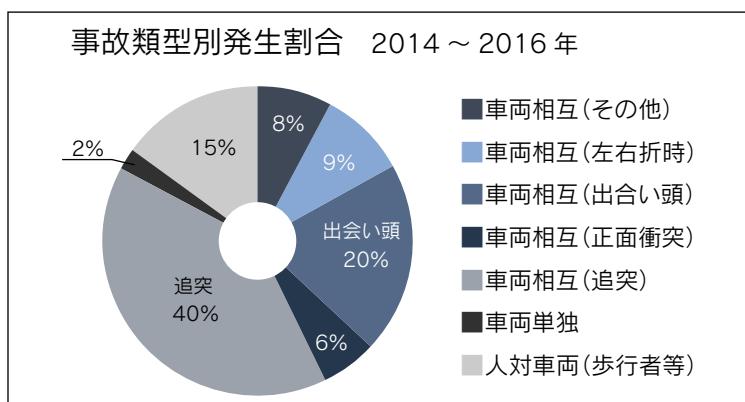




亡事故や200件以上の人身交
しかしながら、依然として死



平成24（2012）年にセーフコミュニティの取り組みを開始してから、秩父市的人身交通事故件数は減少傾向にあります。

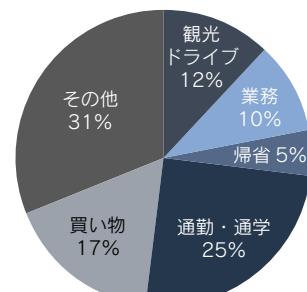


秩父市内的人身交通事故は、類型別で見ると、追突が最も多く4割を占め、次に出会い頭の事故となつてお、両方で6割を占めている状況です。

そして、時間帯別に見ますと、16時から18時が最も事故が多く、次いで18時から20時と暗くなる時間帯で事故が多くなっています。このようなデータ結果を踏まえ、通勤・通学の際の追突・出会い頭の事故には、特にご注意をいただき、日頃からの交通ルールの遵守にご協力をお願いします。セーフコミュニティ交通安全対策委員会では、データ分析結果を基に、引き続き事故件数を減らすための取り組みを推進しております。

このデータ結果を踏まえ、次いで18時から20時と暗くなる時間帯で事故が多くなっています。このデータ結果を踏まえ、通勤・通学の際の追突・出会い頭の事故には、特にご注意をいただき、日頃からの交通ルールの遵守にご協力をお願いします。

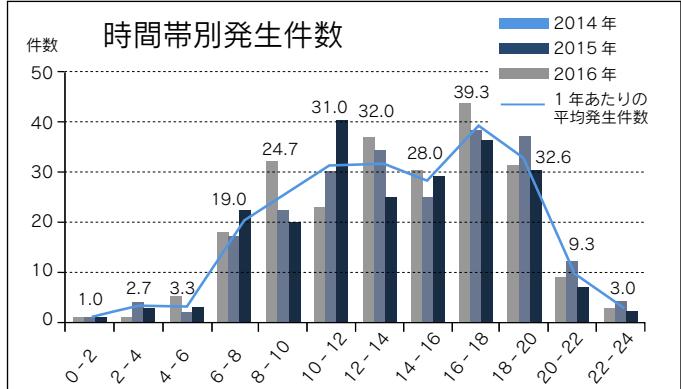
追突事故の目的別内訳 (2014～2016年)



また、追突事故の目的別の内訳を見ますと、通勤・通学で25%と最も多く、次いで買い物となっています。

「事故だけが偶然の結果ではなく、データの分析などにより予防することができる」という基本的な考え方のもと、行政や関係団体、市民の皆さんと一緒に、「互助のまちづくり」を推進することで、質の高い安全・安心なまちづくりを構築していく活動です。

セーフコミュニティとは



「影森連合町会

防犯パトロール隊」に

感謝状が贈呈

されました



上田知事と小池連合町会長

（小池克二郎連合町会長）は、平成25年度から、影森地区6町会合同での防犯パトロールを実施しています。地域住民や、警察・消防などの関係機関を合わせ100人以上の隊員が参加し、地域での防犯意識の向上や、連帯感の醸成を図っています。こうした実績が高く評価され、6月8日に開催された埼玉県防犯のまちづくり推進会議総会において、上田清司埼玉県知事より、感謝状が贈呈されました。

今後も、安全・安心な地域社会を目指して、ご協力をよろしくお願いします。

7月11日、「第6回 秩父市ボランティア感謝状贈呈式」が行われ、広く地域を支えるボランティア活動や社会に貢献する活動に対し、市長から感謝状が贈られました。被贈呈者は次の方々です。

（順不同・敬称略）

高野晴信	今井健一	町田林藏	高橋孝栄
間総務課	浅見哲也	太幡紀明	新井満
☎ 22-12251	原嶋重之	富田政代	磯田ヒサ
	杉田ヨシ	八木福造	島寄初夫
	風間正義	宮下隆一	小池幸子
	宮下隆一	新井充江	石井 熱

ご寄附ありがとうございました

次の方々から、寄附をいただきました。温かな善意に感謝し、ご紹介します。（平成29年6月）
社会福祉のために
▼6月7日、匿名様から、5,500円
▼6月22日、埼玉土建一般労働組合秩父支部様から、37,109円
健康づくりの推進のために
▼6月18日、特定非営利活動法人総合型地域スポーツクラブさいたま健康いきいき俱楽部様から、100,000円

第6回 秩父市ボランティア感謝状贈呈式が行われました

秩父市消防団消防操法大会 が行われました。

6月25日、影森グラウンド下の会場で各地域から選出された12隊が日ごろの訓練の成果を競い合いました。

大会結果



第1位 第二方面隊第二部隊(下黒谷)
第2位 第一方面隊第二部隊(番場町)
第3位 第一方面隊第三部隊(別所)



個人賞（操作員）

指揮者 大滝荒川方面隊第一部隊(大滝)団員 山口 芳正
一番員 第一方面隊第四部隊(旭町、巴)団員 南 泰平
二番員 第一方面隊第一部隊(日野田町)団員 櫻井 均
三番員 第二方面隊第二部隊(下黒谷) 団員 逸見 和宏
問消防団事務局☎ 21-0127

「ちちぶ安心・安全メール」にて、防災・防犯情報、防災行政無線放送の内容、火災情報を配信中！

右のQRコードを読み取るか、t-chichibu@sg-m.jpに本文が空白のままメールを送ってください。

